

開催日:2023年4月16日(日) 18:00~20:00

会場:Zoomによるオンライン会

参加者: 清水(49C)、阿部(桂)(46修S)、松永(47C)、吉平(50C)、鶴岡(44M)、佐野(62W)
伊藤(H15C)、阿部(雅)(47修C)、奥山(52E)、窪田(46W)、二宗(46M)
森口・中村(四国)、星野(高崎)、金井(東京)、荒井(佐野)、柳瀬(さいたま)
小松原(工業会) 合計 18名

今回も新規に、吉平さんの紹介ということで埼玉の柳瀬さんの参加があった。このように参加者が友達に「面白いから参加してみては」と声がけして、参加者が全国的に広がってきている。

今回は方法を少し変えて開催した。今まではスピーカーを事前に決めて、その人のトークを聴いて懇談する方式であった。

今回はテーマを幹事から提示し、参加申し込みと同時にトークの意思表示をってもらう方式で実施し、3名の市表示があった。

今回のテーマは、「聴いてほしい私の街、私の思い出の街」である。

まず最初に清水さんが、「私の思い出の街、アムステルダム」について語ってくれた。

会社のアムステルダム事務所の開設から5年間駐在し、2017年に帰国した。運河に囲まれ緑が多く、のどかな街であるが、夏が短く冬が長い。チューリップや風車が有名で、また有名な画家も多い。このような風景を自分で撮った写真で参加者に見せてくれた。



2番目は四国支部の森口さんで、「阿南市の自慢話と心配事」を、細かいデータも入れたパワーポイントスライドで話してくれた。



時代の順に、縄文時代から鎌倉時代にかけての辰砂(水銀の原料、赤色顔料の材料)産地、弥生時代の銅鐸、江戸時代から昭和時代の日本一の火打石の産地、大正から昭和時代の大理石の産地、そして最後に街の将来についての心配事の内容であった。

大理石は国会議事堂や国立博物館などの重要な所に使われている。



議事堂前の天皇陛下御休所(時鳥)



将来の心配事として、阿南市は県外からの移住者が県内他市に比べて多いが、それでも人口が1980年をピークに減少して、小中学校の生徒も減少し学校の統廃合が進む。全国的なことではあるが、地方都市ではそれが非常に切実である。

3 番目は佐野支部の荒井さんの話である。



60 歳の時、脳出血を患い、不自由な体をリハビリを頑張って、今では自動車の運転もできるほどに回復して生活を送っている。

「上州の野鳥たち」というテーマで、生まれた館林、現在住んでいる佐野近郊の鳥の様子を写真を中心に話してくれた。

上州の野鳥たち ①

*館林市の美家周辺で

ムクドリ



スズメ ニュウナイスズメ



コサギ



*佐野市の近郊で

サギの特徴はS字の首



ハクセキレイ



キセキレイ



この内容は「タケちゃんのひとり言」というエッセイに書かれているものを中心に再編したものである。このエッセイ集はすでに36編ほど出来上がっている。

鳥に関しては参加のなかでも趣味としている人が多く、写真の道具、撮り方とか苦労点など話が広がった。

今日の午後、三重支部の総会がハイブリッドであったこともあり、工業会の小松原副理事長も参加いただいた。

感想として、「専門外のこと、このように話して楽しくやっている。良い経験をさせてもらった。

これからも頑張ってください。」とのコメントをいただいた。



** 幹事のつぶやき一言 **

今日も参加者からの声掛けで新しい友達が初参加。このようにして3年目を迎えたオンライン交流会の参加者は全国的に広がり、繋がりが構築されてきている。

同時にこのような発表を通じて、同じような分野に興味を持っている人が多いこともわかってきた。お互いの情報を交換することにより、一層の繋がりができ、面白さも増してきて、その人の人生をより豊かにしてくれていると考えている。

今の参加者は同世代の横が中心であるが、縦の繋がりが(学生、現役、OB)ができてくれば、より有意義で豊かな会に発展すると思う。そう願いたいし努力したい。

(幹事 二宗 46M)